nagomi

札　幌　組　報

なごみ

2021 年 03 月 31 日
第 59 号
浄土真宗本願寺派北海道教区
札幌組実践運動委員会
事務局
札幌組 HP
https://www.onishi.or.jp

ご挨拶

札幌組 組長
御同朋の社会を目指す運動
（実践運動）委員会委員長
石堂 了正（眞願寺）

令和2年4月より、二期目の札幌組組長・札幌組御同朋の社会を目指す運動（実践運動）委員長を拝命する事となりました。浅学非才の身ではありますが、どうか宜しくお願い申し上げます。

副組長には久朗津泰秀氏・打本大志氏・松本昇陽氏の三氏に。実践運動副委員長には横湯誓之氏にそれぞれ一期目に引き続き再任いただきました。また新たに藤井克行氏に組事務局（広報担当）をお願いし、6名の体制で執行してまいります。

札幌組の方針では、一期目４年間の総括を元に引き続き「後世に受け継ぐ基盤作り」を重点目標に、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の法要に向かって、自己研鑽と門信徒伝道活動、そして新たなご縁を結び都市圏だからこそ出来うる伝道活動を進めて参りたいと思います。

その為に三つの項目を掲げました。

一つめには、各寺院の皆さまに組会や、各研修会等に積極的に参画していただく企画運営を図ってまいります。日頃の悩みや思いを語り、組内の融和というものを大切にしながら、共に歩みを進めて行きます。地域の中でお寺から何を発信できるかを考え、各組各寺院とも協力し、み教えを共に伝えて行くために、更なる強い基盤作りをいたします。

二つめには、僧侶として日常の法務（月忌・法事・葬儀）を再考し、実践的な研鑽を共に積み重ね、多くの方々から信頼され、そして『社会に受け入れられる僧侶』を目指して行きます。また、門信徒と共に心豊かに生きることのできる社会の実現に向かって取り組み、2023（令和５）年の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をお迎えいたしましょう。

三つめには、あらゆる災害に対して支援や組独自の災害への備えを整備します。これまでの被災地支援も継続し、疫病蔓延の中でも出来る活動を模索して参ります。

この1年間は、コロナ対策の年でした。組会や実践運動の総会をはじめ、大切な会議すら集まることが出来ない状態が続きました。各ご寺院でも昨年の２月より本当にご心労とご苦労をされたことと存じます。伝道教化の主たる法座や恒例法要が開けない。月忌・法事がお休みや延期になり、葬儀も時間の短縮や縮小等が行われ、寺院活動の危機的な状況になりました。

その中で昨年は、宗派や教区でも賦課金が減額されましたが、札幌組としましては例年のような事業の推進は難しいと考え、予算の縮小と組費の全額免除とさせていただき、各ご寺院のコロナ対策に尽力いただきました。

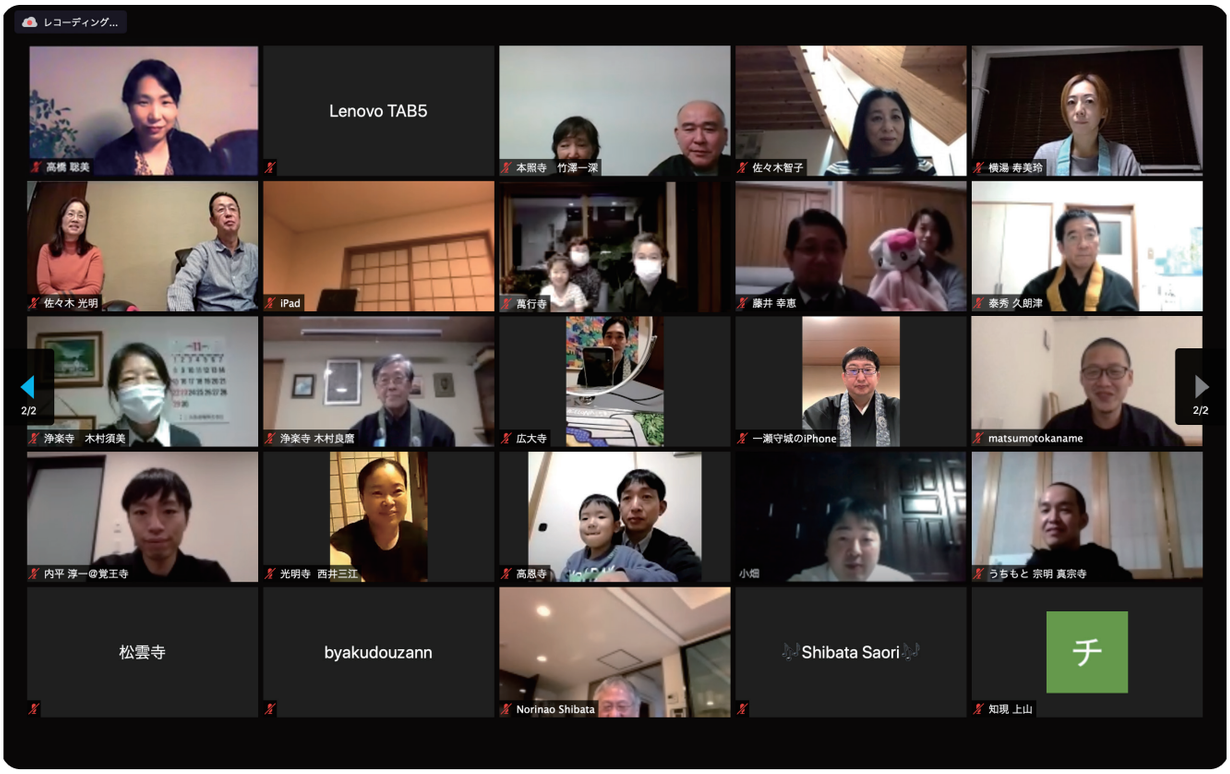
新年度は方針にお示しした疫病蔓延の中でも出来る活動を模索し、重点項目を元に実践運動を推進してまいります。未だに見通しのつかない今日ではありますが、組内４４ヶ寺の僧侶・門信徒が一丸となり、札幌別院のご協力を得ながら、力を出し合ってまいりましょう。皆さんのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。合掌

札幌組オンライン研修会（寺族婦人会協賛）

研修部活動報告

新型コロナウイルス感染症の影響をうけ一堂に会しての研修会が難しい状況となってしまったため、Web 会議システム (Zoom) を利用して札幌組研修会を開催いたしました。それに先立ち、組内寺院の皆様にご協力をいただいてインターネット環境調査を行い、またこれをきっかけに Zoom に挑戦しようと思っていただけるように Zoom ミニ講習会を開催しながら準備を進めました。

令和 2 年 11 月 18 日（水）15 時より寺族婦人会の協賛をいただき、ご講師に髙橋聡美氏（中央大学人文科学研究所 客員研究員 博士 (医学)）をお招きし、『新型コロナウイルスをめぐるメンタルヘルスの問題 ～学ぶべきこと・すべきこと～』を題目にご講演をいただきました。コロナ禍において増加傾向にある若年層や女性の自死に関することであったり、デマに振り回されないために正しい知識を備えることの大切さ、それがコロナ差



別を生まないことにつながっていくなど、不安から生まれる様々な問題について学ぶことができました。ご講師の「コロナ差別や偏見は長期に渡ってしこりを残してしまう」という言葉が重たく響き、私たちが出来ることは何か、何をしていくべきなのかを考えさせられました。

今回はオンライン研修会ということで、感染リスクや移動時間を気にすることなく、場所を問わずに参加できることもあって、50 名以上とたくさんのご出席をいただきました。実際に顔を合わせられない寂しさはあるけれど、久々に色々な人に会えて嬉しかったという声も聞かれました。

オンライン研修会を開催してみて、オンラインの良い面も見えましたし、併せて実際に集まる研修会の良さも改めて感じることができました。それぞれの良さをうまく取り入れながら研修会を開催できるよう模索していきたいと考えています。

ご縁を慶び、お念仏とともに

親鸞聖人 御 誕 生 850

立教開宗 800

法要期日 2023（令和５）年

【第１期】 3/29（水）～ 4/3（月）
【第２期】 4/10（月）～ 4/15（土）
【第３期】 4/24（月）～ 4/29（土）
【第４期】 5/6（土）～ 5/11（木）
【第５期】 5/16（火）～ 5/21（日）

連研部・社会部共催オンライン研修会

連研部・社会部活動報告

令和２年１１月２日(月)19時より、連研部と社会部の共催で、Web会議アプリ「Zoom」を使用してのオンライン研修会を開催しました。講師は、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授の中島岳志氏。「コロナ後の社会と親鸞の思想」という講題で、お話いただきました。政治学者でありながら、著書に『親鸞と日本主義』があるなど宗教学にもたいへん詳しい中島氏らしく、さまざまな領域を横断しながら、コロナ危機によって私たちの生き方の根本が問われる現在、親鸞聖人の思想がいかなる視座を示してくれているのか、「他力」の本質についてお話くださいました。参加者は２１名で、札幌組以外の方にもご参加いただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、連研など参加者が一堂に会する研修会の開催が難しい状況が続いていますが、そのような状況だからこそ、この期間を利用して自らの学びを広め、深めようと企画した研修会でしたが、オンラインで開催することによって、道外の著名な講師をお招きすることができたり、また札幌組以外の方にも参加していただけたりと、これまでにない可能性を感じられる研修会となりました。２０１９年から始まった第１８期連研もコロナ禍により延期が続いていますが、今回の研修会を機に今後オンラインでの開催なども検討していきたいと思います。

※研修会の動画をご覧になりたい方は連研部・内平（覚王寺）にご連絡ください。

お知らせ

おくやみ　令和２年３月～令和３年３月にご往生

円静寺　第４世住職

叡智院釋良星　藤原　健彦 様

令和２年５月 27 日ご往生　行年 47 歳

敬念寺　第３世住職

一隅院釋敬輝　原　敬輝 様

令和３年３月 22 日ご往生　行年 94 歳

生前は札幌組のご法義発展に大変なご協力を下さいました。皆様のご尽力に感謝申し上げます。合掌

編集後記　組報なごみ「第 59 号」を発行いたしました。例年であれば、実践運動各部活動報告を掲載させていただきますが、令和２年度は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、組内に於ける様々な活動を開催することができませんでしたので、大幅にページ数が少なくなってしまいました。

次年度は新たな形での取り組みを勘案させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。